

終末主日礼拝  
説教『さあその時がきたのだと言われ』

司会 山根眞三師  
高橋圭子さん  
奏楽 白石百合子さん  
招詞 ヨハネ黙示録21章3～4節  
主の祈 (564)  
讃詠 5 4 6  
交読詩編 詩 1 2 6 編  
祈禱  
讚美歌 21-2 3 0  
使徒信条 (566)  
聖書 マタイ福音書 25章1～13節  
説教 (口語訳41頁、新共同訳49頁)

『さあその時がきたのだと言われ』

祈禱  
讚美歌 1 5 8  
献金  
感謝報告  
報栄 5 4 1  
祝禱  
後奏

次週の礼拝(待降節第一主日礼拝)  
説教『祭司ザカリヤの祈りがききいれられ』  
ルカによる福音書 1章5～25節  
招詞 ローマ書13章8～10節/交読詩篇24編  
讚美歌 546、94、21-229、542

礼拝当番  
今週 24日 司会 高橋さん 献金 吉丸さん  
次週 1日 司会 吉丸さん 献金 根角さん  
会堂清掃奉仕 11月29日(金)  
午後4時～ めぐみ幼稚園保育者

本日の集会

★教会学校 午前9時45分～  
★出合いのひととき 礼拝後～  
それぞれの思いを語り合しましょう。

今週の集会/スケジュール

§山根牧師定期健康診断 11月26日(火)9:30～11:00  
★聖書を読む会 11月27日(水)10:00～ ヨハネ  
黙示録への要望があり、挑戦してみようと思います。  
§広島拘置所教誨奉仕 11月27日(水)13:30～16:00  
この日には永眠者記念を覚え聖餐式をおこないます。  
施設にある方の信仰生活を覚えてお祈り下さい。  
●めぐみ幼稚園わくわく実験室 11月28日(木)10:00～  
●めぐみ幼稚園誕生礼拝 11月29日(金)10:00～  
§広島キリスト教信徒会待降節交流会 11月30日(土)  
11:00～14:00 於:日本バプテスト広島教会  
市内教会の方々との交流の時を持ちます。

次週以降のスケジュール等

★待降節(アドヴェント)12月1日(日)～24日(水)  
救い主イエスの降誕を待つことから信仰の新しい歩みを始めます。  
★12月定例教会役員会 12月1日(日)礼拝後  
教務・教勢報告、会計報告、  
教会役員の仕事と健康を覚えてお祈り下さい。  
§西地区保護司会更生保護顕彰式 12月3日(火)  
15:30～17:00 於:西地区更生保護サポートセンター  
山根師、名誉保護司として出席されます。  
★沖縄教団と日本基督教団の合同のとらえ直しを  
考える出前講座 1月26日(日)14:30～ 役員会  
は教会の皆が理解しておくべきだと、教区に願  
いすることを決めました。教区議長他2名の委員  
の先生方が出張してきて下さいます。  
今からこの日を空けてご準備下さい。

|       |   |   |    |
|-------|---|---|----|
| 先週の集会 | 男 | 女 | 計  |
| 教会学校  | 0 | 0 | 0  |
| 主日礼拝  | 2 | 8 | 10 |

◇今週の説教要旨(終末主日礼拝)

『さあその時がきたのだと言われ』マタイ福音書25:1～13  
もう5年も前のことになるのですね。ローマ教皇が終末主日に長崎と広島を訪問されたのは。私にはとても大変な出来事として記されている。教会暦の一年の最後の主日の出来事だったからだ。そのことの持つ重さを考え続けたい。この年被団協が平和賞を受けた。それほどまでに世界は核の危機に直面している。核兵器を所有している国、開発に血眼になっている国々はどう理解しているのだろうか。時至る。どのような時が接近するのだろうかかと国々は心から考えているのだろうか。  
ローズンゲンによる終末主日に指定される福音書はいつもマタイ福音書25章1節からだ。所謂花婿の到来を待つ花嫁側の待機。どのように待ち続けるのかということだ。毎年この聖書を通して終末主日についてのメッセージを求めてきた。当時のユダヤ社会の結婚については熟知していないので、幾度出会ってもこの出来事については理解が深まらない。そもそも結婚式という大切な出来事で中心的な出来事の花婿の来臨に時間に遅れることが考えられないのだが。イエスが語るこの花婿の来臨と言う出来事は、終末、栄光のうちに救い主が来臨することは、当然のことなのだが、その時間は確定はしていないものだという事なのだろうか。花嫁の照明の付き添いに指定された10人の女性について語られる。婚礼の重要な役割を委ねられているのだが、不測の事態に普通は対応していることはない。たまたま5人の女性は不測の事態に対応していた。これらの譬えについて私はあまり納得は出来ないのだが。イエスは選ばれる人については特に問題とされないが、役割を求められている人は、それなりに対応することが求められるということだろうか。基本的に、読者は特別の役割を委ねられた者として、その歩み方については覚悟し、準備することが求められているのだろうか…。